

2024年 4月 15日

骨盤内術後リンパ嚢腫に対するUSガイド下経皮的ドレナージの検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、骨盤内に発生した症候性のリンパ嚢腫の治療について調べています。本研究では、超音波検査を用いた経皮的ドレナージが安全で有用であるかを検討し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2017年5月から、2024年4月までの間に、症候性の術後リンパ嚢腫であると診断された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

患者さんの年齢、性別、既往歴、現病歴、血液検査、バイタル、手術およびドレナージ施行および画像撮像年月日、細菌培養所見、治療経過、画像データ

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2024年5月7日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録や画像を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
放射線診断科 研究責任者 石坂 幸雄

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)
(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明